



平成22年3月24日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社
代表者名：代表取締役社長 鳥原 光憲
(コード：9531 東証・大証・名証第1部)
問合せ先：総務部総務グループマネージャー 丸山 達哉
(TEL：(03) - 5400 - 3894)

センカンプロジェクトへの事業参画と液化天然ガス(LNG)購入の 協議に関する基本合意書の締結について

当社は、エナジーワールドコーポレーション社(代表者：Stewart Elliott、以下「EWC 社」)との間で、本日、下記のとおり基本合意書に調印しましたので、お知らせいたします。

記

1. 基本合意の概要

当社と EWC 社は、EWC 社がインドネシアで推進しているセンカンプロジェクト(以下「本プロジェクト」)における事業参画および本プロジェクトで生産される液化天然ガス(以下「LNG」)の購入に関し当社が EWC 社から優先的交渉権を得て協議を行っていくことについて合意いたしました。今後の具体的な協議内容は、以下のとおりです。

- (1) 事業参画： EWC 社が 100%保有する 3 事業会社(①ガス田開発会社、②スラウェシ島内発電会社、③LNG 生産会社)および今後設立する予定の LNG 販売会社の株式の各 25%の取得
- (2) LNG 購入： 50 万トン/年(2012 年以降)

2. 理由

本プロジェクトの LNG 生産プラントは、中小ガス田の開発に適した小規模液化設備を並列する方式を採用しております。当社は、本プロジェクトへの参画と LNG 購入を通じ、LNG 調達が多様化および安定確保を図ることができるとともに、LNG バリューチェーンにおける事業展開をより一層進めることができるものと期待しています。

当社は、「2009 年度～2013 年度グループ中期経営計画」において上流・海外事業への 1,500 億円程度の投資を予定しており、本プロジェクトはその一部になります。なお、具体的な金額につきましては協議中であり現時点で未定です。

3. 今後の見通し

今後、当社は本プロジェクトの各種事業への参画に関する契約及び本プロジェクトからの LNG 購入契約の締結に向けて EWC 社と継続協議してまいります。

以上

(参考)

<センカンプロジェクトの概要>

位 置 :	インドネシア、スラウェシ島南部
発 電 規 模 :	現在・・・19.5 万 kW、拡張後・・・31.5 万 kW (2011 年完了予定)
L N G 生産規模 :	200 万トン/年
内 容 :	本プロジェクトは、EWC 社がインドネシアのスラウェシ島南部で推進しているガス田開発事業、スラウェシ島内発電事業、LNG 生産事業、および LNG 販売事業の 4 事業から構成されます。 本プロジェクトでは、区域内で採掘された天然ガスを利用し、1997 年からインドネシア初の民間による天然ガス発電事業を行っています。 今後は、天然ガス発電事業の拡張とともに、新たに LNG を生産し、インドネシア国内を中心に日本をはじめアジアなどにも供給される見通しです。
地 図 :	

<EWC 社の概要>

社 名 :	Energy World Corporation(エナジーワールドコーポレーション)社
住 所 :	9A, Seaforth Crescent Seaforth, NSW 2092, Australia
代 表 者 :	Stewart Elliott(スチュワート・エリオット)
事 業 概 要 :	EWC 社は、オーストラリアおよびニュージーランド証券市場に上場しており、インドネシア、オーストラリアを中心に、ガス採掘・生産および天然ガス発電を行っています。オーストラリアでは、1989 年から 18 年間にわたり、1 万トン/年の陸上小規模 LNG 事業を行った実績があります。

以上